

市議会9月定例会を開催

いわき市議会九月定例会が、九月六日から二十一日までの十六日間の会期で開催されました。議
会では、一般・特別会計を合わせて、総額四十八億三百七十七万九千円に上る補正予算などが審議
され、二十九議案が可決されました。
なお、平成二十九年度決算関連の十九議案については、継続審査となりました。

市長からの行政報告

清水市長は第六十一回
オールスター競輪（G I）
を昨年に続いて盛大に開催
し、市内外から約二万三千
人の方が来場したことを報
告しました。本市の特色の
一つであるハワイアンイ
メージを基調とした場内装



行政報告を行う清水市長

飾や、さまざまなイベント
を実施し、幅広い層の方に
楽しんでもらうことができ
たと述べました。
また、本市の津波被災地
である久之浜、薄磯、豊間、
小名浜港背後地、小浜、岩
間の六地区で進めてきた震
災復興土地区画整理事業に
ついて、本年七月までに全



多くの来場者でにぎわった第61回オールスター競輪（G I）

ての工事が竣工したことを
報告しました。
さらに、公立小・中学校
の敷地内において、道路に
面して設置されているブ
ロック塀の緊急安全点検を
行い、緊急性が高いと判断
した二カ所について、解体
作業を終了したことを報告
しました。学校を除く市有
施設についても、二カ所の
撤去を完了し、今後は、現
行の建築基準法の基準に適
合していないその他の箇所
について、撤去などを実施
していきたいと述べました。

主な議案

○いわき市介護医療院の
人員、施設及び設備並びに
運営に関する基準を定め
る条例の制定について
昨年六月二日に公布され

た、地域包括ケアシステム
の強化のための介護保険法
等の一部を改正する法律に
より、介護保険法の一部が
改正され、新たな介護保険
施設として介護医療院が創
設されたことに伴い、同施
設の人員・施設・設備や、
運営に関する基準を定める
ため、同条例を制定しまし
た。

○いわき市墓園条例の改正 について

市営の東田墓園・南白土
墓園において、多様化する
墓地需要に対応するため、
焼骨を共同で埋蔵する納骨
堂型合葬墓地および樹木葬
型合葬墓地を整備すること
に伴い、合葬墓地の設置や
使用料の額などを定めるた
め、所要の改正を行いました。

主な補正予算

- ▶ 震災メモリアル事業費 = 1億6,513万7千円
- ▶ 工場等立地奨励金 = 1億4,575万円
- ▶ 薄磯交流多目的広場駐車場整備事業費 = 5,605万9千円
- ▶ 病児・病後児保育施設整備事業費補助金 = 2,785万8千円
- ▶ 個人番号カード（マイナンバーカード）交付事業費 = 1,448万円



観光客の利便性向上などのため薄磯交流多目的広場駐車場を整備

勿来地区まちづくり懇談会を開催

～「活気ある住みよいまち・勿来」をめざして～



地域の活性化についてさまざまな提案をする参加者

勿来地区まちづくり懇談
会を十月三日、南部アリー
ナで開催しました。
同懇談会では、「『活気あ
る住みよいまち・勿来』を
めざして」をテーマに、安
全・安心のまちづくりや、
地域の活性化、魅力ある観
光地づくりなどについて、
住民の皆さんと市長・関係
部長が意見を交換しました。
その主な内容をお知らせし
ます。

ています。本年五月に「民
間経済団体による一日も早
く『国道六号勿来バイパス』
を開通する会」を設立
し、国などに早期開通をお
願いしています。早期開通
に係る取り組みについて、
市の考えを。

○一般国道六号勿来バイパスの 早期開通に係る市の 取り組みについて

【提言】一般国道六号勿来
バイパスが開通すると便利
になるほか、さまざまな面
で恩恵をもたらすと期待し

【市】一般国道六号・四十
九号いわき地区改築工事促
進期成同盟会や、常磐三市
長会議、常磐三市議会議長
会の活動として、勿来バイ
パスの新規事業化に向けた
要望活動を行い、平成二十
七年四月に国の新規事業と
なりました。その後は、住
民の皆さんに対して設計説
明会を開催するほか、事業
課題の解決のため「国道六



地区住民の皆さん約130人が参加

号（勿来バイパス）事業調
整会議」に参画し、事業の
支援に取り組んでいます。
「民間経済団体による一
日も早く『国道六号勿来バ
イパス』を開通する会」の
皆さんと連携を強めながら
引き続き、国などの関係機
関に対する要望活動や、事
業支援などを積極的に展開
していきます。

○勿来関文学歴史館におけ るバーチャルリアリ ティを活用した「勿来 の関」紹介コーナーの設 置について

【提言】最新のテクノロ
ジーとして注目されている
バーチャルリアリティを使
い「勿来の関」や戊辰戦
争の歴史などを学べるコー



貴重な資料などを展示する勿来関文学歴史館

ナーを同館に設置すること
について、市の考えを。
【市】昭和六十三年七月に
オープンした同館は、リ
ニューアルオープンした平
成十三年三月以降、大規模
な改修などを実施してお
らず、展示内容が固定化し
ているほか、企画展示室が非
常に狭く、さまざまな企画
やイベントが実施できない
状況です。そのため、入館
者数は減少傾向にあり、リ
ニューアルの必要性を感じ
ています。
今回の提案内容のみなら
ず、同館のコンセプトや展
示内容を見直し、周辺施設
との連携による新たな活
性を視野に入れ、リニュー
アルに向けた調査を進めて
いきたいと考えています。